シニアのＩＣＴ活用基礎知識

～基本を理解し有効活用を～

2022年3月

シニアネットひろしま　理事長　　福田卓夫

今回のお話

1. 情報端末について

- パソコンの規格、OS、アプリの動向
- スマホ・タブレットの種類、機能の動向

2. ネット接続について

- ネット回線の種類、特徴、選び方
- Wi-Fiの利用

3. 最近の情報から

- 新たなウイルス等に注意
- マイナンバーカードの利用

1.情報端末について

パソコンの規格

CPU	パソコンの心臓部であり、この能力により種類が分かれる。
メモリー	CPUが処理をするための作業場として必要なもの。Windows10では、最低4GB、できれば8GB以上必要。
ストレージ	現在はSSDが主流となっている。SSDはハードディスクに比べて、衝撃に強く壊れにくい、データの読み書き速度が何倍も速い、という特長がある。
ディスプレイ	ノートパソコンでは、15.6インチが一般的で、持ち運び用のものは13.3インチか14インチとなっている。解像度は、1366×768ピクセか1920×1080ピクセルが一般的。
入出力端子	USB、オーディオ(マイク、ヘッドホン)、HDMIなど

CPUの種類

インテル	Celeron,Pentium, Core i3,Core i5,Core i7,Core i9
AMD	Athlon, Ryzen 3,Ryzen 5,Ryzen 7,Ryzen 9

※いずれも表示した順に能力が高い。

★インテル製を例にしたパソコンの用途によるCPUの選び方

Core i9	4K動画の編集や動画配信といったハードな作業
Core i7	動画編集からゲームまで、負荷の大きい処理
Core i5	軽めの動画編集やゲーム、オフィスソフトを使った 本格的な資料作成
Core i3以下	ネットサーフィンや動画視聴、軽めの資料作成

パソコン・OSの動向

Windows10

- サポートは2025年10月14日で終了。今後は大型更新は年1回になるので、安定動作が期待できるかも？

Windows11

- 対応するパソコンの条件が厳しく、移行は進んでいない。操作方法が違うところがあるので戸惑う。移行は慎重に。

Chrome OS

- Windows11に対応しないパソコンでも動作。Googleアカウントが必要。操作はWindowsとほぼ同じで違和感なし。Officeは、無料のWeb版を利用。今後の動向を注視。

パソコン・アプリの動向

クラウドサービスが充実

- クラウドサービスが充実してきて、アプリを購入しインストールして利用することが少なくなってきた。

スマホと同じアプリを連携して利用

- スマホと同じアプリがパソコンで利用できるようになり、スマホとパソコンを連携して利用するのが容易にできるようになった。

サブスクのオフィスが普及

- Office365という毎年利用料を払って利用するサブスクリプション(購入ではなく、利用料を払って利用する形態)のオフィスが普及している。
- Office365は、常に最新の機能が使える、同じマイクロソフトアカウントで使うパソコンの何台でも利用できる、OneDriveの容量を1TB使える、という特長がある。

パソコンの利用について

なるべく快適に使えるように整備

- ハードディスクをSSDに換えるのが最も有効。更にメモリーが少なければ増設。OSの設定の見直しも。

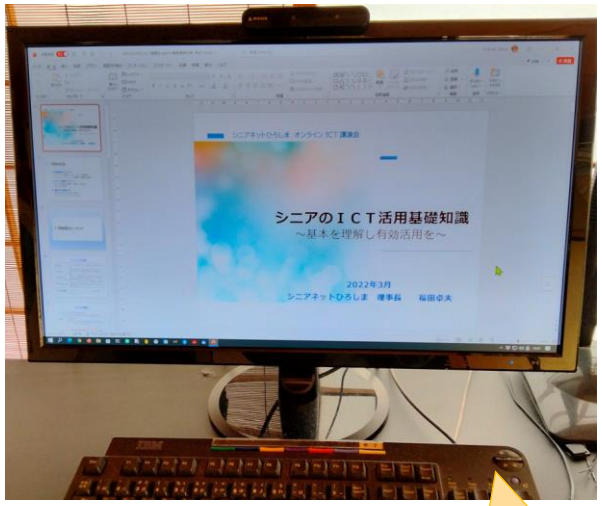
複数台のパソコンを使い分ける

- 1台のパソコンに何もかもやらせるのではなく、用途に応じて複数台を使い分ける。その方が安定した動作が可能。

古いパソコンも活用

- 用途は限られるが、整備すれば古いパソコンでも十分快適に利用できる場合がある。古いものも捨てないで有効活用。

【参考までに】私のパソコン



メインの自作PC
ディスプレイは27インチ

スマホの種類

	iPhone	Android
OS	iOS	Android OS
メーカー	Apple社のみ	多数あり
価格	高い	安いものから高いものまであり

★iPoneとAndroidの比較

- 使いやすさという点では、大きな違いはない。(慣れ)
- 同じアプリでも多少画面が違うことがある。
- iPoneは機種が違っても操作方法は変わらないが、Androidはメーカー・機種によって違う場合がある。

スマホの機能

スマホの機種を選ぶときに考慮すべき機能として、次のようなものがあります。

NFC（マイナンバーカード読取）

- 今後、マイナンバーカードを使う機会が多くなるので、これに対応した機能（NFC）を備えた機種を選ぶようにしましょう。

AIカメラ

- 近年、スマホのカメラ機能が向上しています。最近では、広角、接写、望遠など複数のレンズを備え、AIが適切な設定で撮ってくれるものが普及してきました。

パソコンとスマホの使い方

パソコンとスマホの連携利用や使い分けを考えてみます。

パソコン・スマホの連携利用

- Gmail、カレンダー、フォトなどGoogleのサービスは、データをクラウドに置くので、パソコン・スマホの両方から同じように利用できます。
- Androidスマホは既にGoogleアカウントが設定されているので、Googleのサービスをすぐに利用できます。iPhone利用者もGoogleアカウントを取って利用すれば、パソコンとの連携利用が簡単に実現できます。

スマホをパソコン代わりに利用

- 最近のプリンターは、Wi-Fi経由でスマホと接続し、スマホから直接印刷できる機能が備わっており、設定も容易にできます。
- スマホで撮った写真を印刷したり、年賀状やクリスマスカードなどもクラウドのサービスを利用すればパソコンを使わず作成から印刷までスマホだけでできます。